
MASTERING GUIDE

「マスタリングという工程があるのは知っているけれど、具体的に何をするのがいまいちわからない」、「初めてマスタリングをお願いするのだけれど、前準備を含めた段取りを教えて欲しい」、「オンラインでマスタリングをお願いしたいのだけれど、何をいつまでに準備すればよいのか教えて欲しい」etc. といった方向けの基本的なガイドとなります。



Photo at Saidera
Mastering Studio

マスタリングとは？

アーティストがリスナーに伝えたい音楽をCD、デジタル配信、ハイレゾ、レコードなど、それぞれのフォーマットに一番ふさわしい音に仕上げる、音源制作の最終工程です。

マスタリングでは何をする？

1. EQ

歌や主要な楽器を中心に周波数帯域を整えて楽曲の立体感や奥行きをより明瞭にします。

(ex. キックの芯を出してタイトに、ボーカルのピークを抑えて聴きやすく等)

2. Compression

楽曲内での各パートの音量が大き過ぎたり小さ過ぎたりする部分を補正します。

(ex. メロとサビのボーカルの聴こえ方を調整して聴きやすく等)

3. Limiting / Maximize

楽曲全体の音圧を歪むことなく最適値まで持ち上げます。

(ex. 迫力のある音に仕上げたり、MP3などに変換されたりポータブルのシステムで聴いた時にも歪まないための処理等)

4. Stereo Enhancement

ステレオイメージ全体をより広くし、パートそれぞれの音像、存在感を大きくします。

(ex. ジャンルにふさわしい左右の広がり、音の近接感の調整など)

ご用意いただくもの

1. ミックス音源ファイル

- ・WAV or AIFFファイル

2. テキスト情報

- ・レーベルコピー (P5~6「用語解説」を参照ください)
- ・ご希望の曲間 (P5~6「用語解説」を参照ください)
- ・ご希望の納品フォーマット (P5~6「用語解説」を参照ください)

進行スケジュール

オンライン・マスタリング

マスタリングのご予約

お電話、メール、Onlineマスタリング・オーダーフォームのいずれかよりお申し込みください。



お申込内容の確認・見積書の送付

こちらからお申込み内容の確認、マスタリングのスケジュール、見積書をメールにてお送りします。



ミックスマスターとテキスト情報の送付

ミックスマスターとレーベル・コピー^{※1}、ご希望の曲同等の必要なテキスト情報をお送りください。



事前支払い

メールの内容でご了承いただけましたら、マスタリング日前日までに、クレジットカード支払い、銀行振込、PayPal支払い、のいずれかの方法で代金をお支払いください。



マスタリング済ファイルの送付・確認

お振込み確認後マスタリングを進行します。
マスタリング完了後、ファーストテイクとしてマスタリング修正済みWAVデータをデータファイル便でお送りします。



マスタリング修正

必要な場合マスタリングの修正を行います。（初回の修正は無料、2回目以降は曲単価の50%にて承ります）
修正が完了次第、セカンドテイクとしてマスタリング修正済みWAVデータをデータファイル便でお送りします。



マスター作成・納品

ご確認いただきOKの場合、ご希望のマスター（DDPマスター^{※2}、WAVデータマスター等）を作成し、
郵送（データ納品の場合はファイル便で）でお渡しします。

※1、※2はP5「用語解説」を参照ください。

立会いマスタリング

マスタリングのご予約

お電話、メール、立会いマスタリング・オーダーフォームのいずれかよりお申し込みください。



お申込内容の確認・見積書の送付

こちらからお申込み内容の確認、マスタリングのスケジュール、見積書をメールにてお送りします。



立会いスケジュール調整

見積書の内容でご了承いただけたら、立会い日の日時を調整します。



ミックスマスターとテキスト情報の送付

ミックスマスターとレーベル・コピー、ご希望の曲間等の必要なテキスト情報をお送りください。



事前支払い（初回・個人のお客様）

ご利用が初めての法人のお客様、及び個人のお客様は、事前にクレジットカード支払い、銀行振込、PayPal送金、のいずれかの方法で代金をお支払いいただくか、立会い当日に現金精算で代金お支払いいただきます。



マスタリング・納品

スタジオにお越しいただき、マスタリングに立会っていただきます。
立会い当日に最終納品のマスターをお渡し可能です。

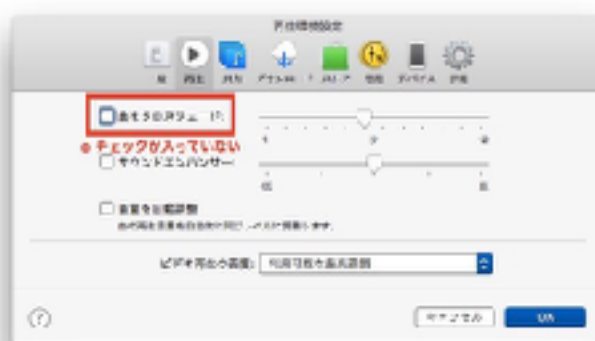
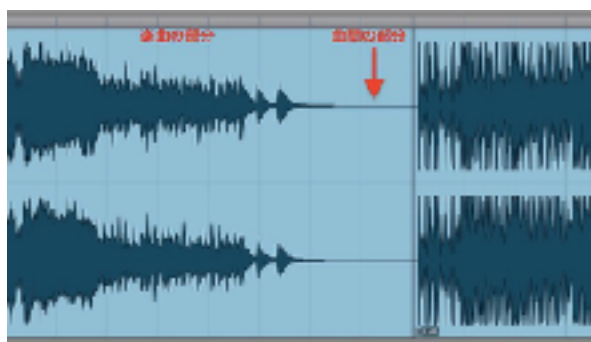
用語解説

1 レーベル・コピー

商品番号、アルバム・タイトル、アーティスト名、収録各曲のタイトル、発売日、POSコード、ISRC等、作品に関する様々なデータが記載された作品管理用のデータシートです。「編成表」ともいわれます。データベースでの管理が主目的なので一般的にエクセルのシートファイルでやり取りされますが、特に決まった書式はなく、必要な情報が盛り込まれていればテキストファイルでも構いません。

2 曲間

曲が終わってから次の曲が始まるまでの無音時間のことをいいます。サイデラ・マスタリングでは楽曲のオシリに無音を付け足すことで曲間を作っています。DAWに隙間なく並べたり、iTunesなどの音楽プレーヤーにそのまま読み込ませれば設置した曲間をご確認していただけます。ご確認いただく曲間はそのままCDプレス用マスター、配信用マスターに反映されます。



3 納品フォーマット

CD用のフォーマットは44.1kHz/16bitに固定ですが、Mastered for iTunesを含むハイレゾ配信及びアナログ・レコード用のフォーマットは配信代行業者、レコードプレス工場によって様々です。事前に必要な納品フォーマットをご確認ください。

4 DDP

CDプレス工場への納品形態で現在主流となっているのが、DDP（ディーディーピー、Disc Description Protocol）と言うファイルフォーマットです。音源データの他にPOSコード、ISRC等もメタデータとして同梱できます。





DDPをCDプレス工場納品用マスターにするメリットは、

- 1.HDDなどにデータとしてバックアップできるので保存性が高い
- 2.インターネット経由のファイル転送でも納品ができる
- 3.限りなくマスタリング時のオリジナルデータに近い仕上がりで音質が良い

などがあります。

特に海外のプレス工場でCDプレスをする場合、マスターが手元に戻ってこないケースがあるので、お手持ちのHDDへデータをバックアップしておけるDDPは安心です。

このようにDDPには多くのメリットがあるので、サイデラ・マスタリングではクライアントがご利用されるプレス工場やプレス業者が対応している場合、CDプレス工場納品用マスターにDDPを高品質なDVD-Rメディアに焼いて納品しています。（ファイル転送での納品も可能です）

 DDPID ファイル 128 バイト	 DDPMS ファイル 256 バイト
 IMAGE.DAT DAT ファイル 543 MB	 PQDESC ファイル 1.31 KB

5 POS (JAN) コード

POSコードとは、商品管理や受注システム、棚卸し、在庫管理システムなどを目的とした、流通情報システムの基盤となる、いわゆるバーコードの事です。13桁の数字からなります。同じ意味ですが、各国での呼び方は様々あります。日本ではJANコード、ヨーロッパではEANコード、アメリカ、カナダなどでは、UPCと呼びます。これらを総称してPOSコードと呼び、互換性のある国際的な共通商品コードです。

利用するには、流通システム開発センターでGS1事業者コードの登録が必要です。

<http://www.dsri.jp/jan/>

CD等をライブ会場その他特定の場所だけで販売する場合は必要ありませんが、**CDショップやオンラインストア等に流通販売する際には必要になります。**

（プレス代行業者がオプション・サービスとして代理取得する場合があります。）

6 ISRC

曲単位の楽曲管理番号で、12桁の英数字からなります。レコーディング（オーディオレコーディング及び音楽ビデオレコーディング）の識別に利用される唯一の国際標準コードです。ここで言う「レコーディング」とは「収録及び編集の作業によって得られた成果」をさし、バージョン違い（リミックス）やタイム違いをはじめとする「視聴覚的に識別できるもの」は全て異なるレコーディングとして扱われます。

日本レコード協会で申請、取得します。

<https://isrc.jmd.ne.jp/application/select.html>

1つのレコーディングは1つのISRCによって識別されます。異なる複数のレコーディングに同一のISRCを付けたり、単一のレコーディングに複数のISRCを付けたりすることはできません。また、一度付番したISRCを変更することはできません。

デジタル配信、ストリーミング配信する場合には必要になります。

(配信代行業者がオプション・サービスとして代理取得する場合があります。)